

2008年度 バルーン業務安全管理講習



ジャパンバルーンタイムズ



協力:日本バルーン協会
制作:岸ゴム株式会社

ジャパンバルーンタイムズは、
年4回の発行で、日本バル
ーン協会のホームページ上
にPDFデータで公開してい
ます。

<http://jba7.jp/>

2008年6月 第4号



施工関係の安全知識
屋外広告物の規制、施工現場
での安全対策、
最近の事故事例について。

株式会社エアロテック
代表取締役 大曾根康弘氏



フィルムバルーンについて
製造方法、素材に関する知識、
ガスバリア、環境への配慮に
ついて。

伸栄ゴム株式会社
代表取締役 矢部信彦氏



「ラテックスバルーンの原料か
ら出来るまでの概略」から「ゴム
農園から精製工業、そして生
ラテックスから実際のゴム風船
になるまでの概略」を

株式会社ライオンゴム
代表取締役 宮尾佳延氏



高圧ガスについて
高圧ガス取り扱いの知識、
ガスの特性、安全対策、
法的な規制、販売の規制に
ついて。

(資)大日本アガ瓦斯製造所
代表取締役 鋤柄喜彦氏

受講終了後に発行される「受講修了証」について
バルーンを扱う、バルーンデコレーションや販売をおこなう上で、広告関係の法律や安全確保の
知識があることは当然の義務です。
今回の「バルーン業務安全管理講習」は他では受講できない、専門分野の安全管理について勉強
していたことを目的とした本格的な講習となります。
この講習を受けた人だけに、名前入り、有効期限の記載されている、施工時に携帯しやすい形
の「受講修了証」が発行されます。お客様に対し、日本バルーン協会の会員であること、ちゃんと
安全講習を受けているのしっかりとした会社であることが証明できるものであり、アピールしてい
ただけるものと思います。
日本バルーン協会は「受講修了証」を携帯している会員に対し、安全なバルーン業務をおこ
なうための基礎知識を持っていると認めています。

バルーン業務安全管理講習とは
バルーン業界でビジネスを行う上で、最低限知っておかなければならない知識を業界のプロフェッ
ショナルが分かりやすく講義してくれる貴重な講習会です。
受講するには、日本バルーン協会正会員(法人会員:代表およびその社員・個人会員:代表お
よびそのスタッフ)である必要があります。

今年も2008年6月3日〜5日の3日間、東京、名古屋、福岡の3会場でバルーン協会主催の
「バルーン業務安全管理講習」が開催されました。
「バルーン業務安全管理講習」が始まって3年目となる今年は、初めての受講者以外にも、3年に
1度の更新受講者が多く受講されました。
基本的に講習内容は毎年同じものとなっていますが、年々法律や世界情勢の変化で、少しずつ
内容が更新され、3年前に受講された方も勉強になる講習会となりました。
日本バルーン協会正会員の方で、受講していない方は、毎年開催されておりますので、受講を強く
お勧めいたします。



愛知県安城市に位置する『リングアベル』は平成78年4月29日に設立。店内6坪のスペースへ、バルーンギフトの定番とも言えるバルーンアレンジメントを中心にポリウム盛りだくさんで、夢のある空間。客層は20代後半〜40代が中心によく来店される。バルーンアレンジメントの使用用途は、ウエディングギフトが1番人気。続いて発表会などの場面に良く注文が入る。ヴィレッジヴァンガード隣接し、駐車スペースも多くあり、立地条件がいい。お店のコンセプトは、お客様との会話を大切にし、お客様のニーズを聞き出し、常に時期に応じたお店作りを心掛けリピーターのお客様を大事にする事。そして、惜しまない努力を継続していく事にある。今、急成長しているネットショップも先月より展開し始め、地元密着型から全国発送できるよう視野を広げる展開へ発展していく。今後は、2号店、3号店を立ち上げる事も構想中。

本業としての、バルーンディスプレイ業の方がすさまじい勢いで急成長を遂げる中、バルーンショップリングアベルもこれから勢い良く発展をし続けていく事でしょう。

バルーンショップ紹介

(株)BRAVOが経営する
バルーンギフト、バルーングッズ、バルーンの
専門店『リングアベル』のご紹介



他業種情報

トラック運送業界

我々の仕入れや配送などに大きく関わっているトラック運送業。高度経済成長において輸送需要の増大、道路網等のインフラ整備に伴い国内貨物輸送のなかでも大きく成長してきた業種である。国内貨物輸送量における輸送機別比率をみると、平成十四年度実績ではトラック輸送の比率が九割と大半を占めている。まさに国内貨物輸送において中核的地位を占めているトラック運送業ではあるが、国内輸送量は年々減少し、また、規制緩和による新規事業者の参入、競争激化によって運賃水運の低下、つまりは業界全体の売り上げの低下につながっている。さらに、多くの事業者にとって「貨物の過積載に対する罰則強化」や「排ガス対策」等にかかるコストを運賃へ転嫁することがむずかしい状況にあり、排ガス規制強化による収益悪化や零細企業の淘汰・廃業が今後進むとみられる。さらに、我々もよく耳にする「原油価格の度重なる値上げ」もあり、業界自体がかなり厳しい状況にあるといえる。

そんな厳しい状況の中、運送会社各社の目下の課題は、いかにコストを下げられるかである。タンク容量の多い車を導入し給油回数を減らして輸送効率をアップさせる、ドライバーへの運転指導を強化し、低燃費運転を徹底させる、トラックのタイヤを見直すなど、各社が様々な工夫を凝らしている。また、燃費の効率化、環境への配慮の図式はいまや常識となっており、こうした動きは社会のニーズとも言える。限りある資源に対しての対策はバルーンの業界においても同じで、ヘリウムガスを少量、もしくはまったく使用しない装飾品、イベントツールへのニーズは年々高まっている。また、荷物を小さくして運送費、ガス使用量などを抑えるために、小さくても見栄えのよい商品も注目を集めつつある。今後も様々な原料の不足が予想される中、安易な値上げではなく、限りある資源を上手に使って最大限の顧客満足を引き出すことが求められている。

バルーンイベント情報



今回で5回目の開催となる『ツイスターズ2008』これまで、東京↓大阪↓愛知↓新潟と開催され、今回は広島が開催地。

一般的には、ペンシルバルーンと言われる長細い風船を、ひねるのが大好きな人が集うイベントなのです。内容は、セミナー・ショー・コンテストと盛りだくさん。参加者はプロの方、趣味でやる方問わず誰でも参加でき、ツイスター交流の場とも言えるのがこのイベントの特徴。バルーンの楽しさを再認識できることでしょうか。ゲスト・講師は有名人が登場。

主催 ツイスターズ2008実行委員会
 後援 広島市教育委員会、広島県教育委員会
 開催日時 平成20年 6月28日(土)~29日(日)
 開催会場 広島市東区民文化センター
 協賛 (株)ナラン、岸ゴム(株)、パイオニアバルーン、センプルテックス

編集後記

梅雨に入り、本格的な夏シーズンの到来も間近となりました。

風船という商品の性質上、一年で一番忙しいといつ会社も多いと思います。イベントや縁日などで大活躍の風船ですが、やはりこの最近の景気の動向を見ると、消費者の買い控えが進むことは容易に予測されます。

今までと同じ売り方ではなく、他社との差別化を図れるような販売方法が必要になってくるでしょう。

安易な値下げはもろんできないという状況のなかで、いかに消費者の購買意欲を刺激できるか。

それは商品の見せ方に全てかかっているのではないかと思います。

ここ数年伸び続けているネット販売を例にとってみれば、成功している業者のほとんどが「SEO対策(ヤフーなどの検索エンジンで自社を上位に表示させるための対策)」や、「ホームページに載せる商品をプロのカメラマンに依頼する」といった、お客様からダイレクトに見られる部分に力を入れているところがほとんどです。実際自分がネット販売を利用する際には、ネット検索して上位三番目くらいまでのお店をチェックし、その中でサイトの画像がきれいなサイトで買い物をする事が多いのではないのでしょうか。

特にバルーンギフトのようにセンスが問われる商品はなおさらです。

どの業者も値下げがなかなかできないという状況の中、まずお客様の目に入るために、また、見られた上で商品の魅力を十分に伝えるために何に力をいれるか。

それこそが選ばれるための最大の要因だと思います。

ジャパンバルーンタイムズ
 編集者 岸ゴム(株)バルーン事業部
 平野アキカズ